

(調査研究発表会のご案内)

環境保健調査研究成果発表会を開催します

平成27年3月5日(木) 連絡先 044-520-9567
独立行政法人 環境再生保全機構 予防事業部
事業課長 森田 将義
担 当 坂本 水穂子
大神 拓郎
田中 健太郎

環境再生保全機構は、平成26年度に実施した「大気汚染による健康影響に関する総合的研究」の成果を発表する「**第10期環境保健調査研究成果発表会**」を、下記のとおり開催します。

環境再生保全機構は気管支ぜん息やCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の発症・増悪の予防、健康回復のための知見を得るための調査研究「大気汚染による健康影響に関する総合的研究」を行っており、平成26年度に公募を行い、「第10期環境保健調査研究」として採択された10課題の調査研究を実施しています。

このたび、これら10課題の調査研究について、平成26年度の成果の発表会を行います。

環境再生保全機構は、公害健康被害予防事業として、大気汚染の影響による健康被害（ぜん息・COPD）の発症・悪化の防止、健康の回復等に関する知識の普及・啓発事業、パンフレットの作成や講演会などの開催を行っています。詳細は、環境再生保全機構ホームページ (<http://www.erca.go.jp/yobou/>) をご覧ください。

【開催概要】（詳細は別添プログラム参照）

日時

平成27年3月15日（日）
10：00～17：00（9：30受付開始）

会場

時事通信ホール
（「東銀座駅」6番出口より徒歩1分）



定員 100名 **参加費** 無料

申込方法 出席申込書に記載し、FAXにてお申込みください。（FAX番号：044-520-2134）

内容

- ・発表（分野1）
気管支ぜん息の発症、増悪予防に関する調査研究（5課題）
- ・発表（分野2）
気管支ぜん息・COPD患者の日常生活の管理、指導に関する調査研究（4課題）
- ・発表（分野3）
気管支ぜん息の動向等に関する調査研究（1課題）
- ・全体討議及び総評

* 当日取材を希望される方は、平成27年3月9日（月）17時までに、連絡先電話番号（044-520-9567）までお問い合わせください。

第10期環境保健調査研究成果発表会プログラム

9:30	開場
10:00	開会
10:00~10:15	挨拶 独立行政法人環境再生保全機構理事 藏重 徹雄 環境保健調査研究評価委員会委員長 宮本 昭正

<第1部 10:15~11:30> 【座長 森川 昭廣】

10:15~10:35	<p>【分野】</p> <p>(1) 気管支ぜん息の発症、増悪予防に関する調査研究</p> <p>①乳幼児期のぜん息ハイリスク群へのフォローアップ指導のあり方</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「気管支ぜん息の発症、増悪予防に関する調査研究」</p> <p>研究代表者：望月 博之（東海大学）</p>
10:35~10:55	<p>【分野】</p> <p>(1) 気管支ぜん息の発症、増悪予防に関する調査研究</p> <p>②アレルギー疾患の進展予防・管理によるぜん息の発症、増悪の予防、改善効果</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「新生児からの皮膚および腸管環境の整備に基づく吸入アレルギー感作・ぜん鳴・ぜん息発症の予防に関する研究」</p> <p>研究代表者：下条 直樹（国立大学法人千葉大学大学院）</p>
10:55~11:15	<p>【分野】</p> <p>(1) 気管支ぜん息の発症、増悪予防に関する調査研究</p> <p>②アレルギー疾患の進展予防・管理によるぜん息の発症、増悪の予防、改善効果</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「保健機関が実施するぜん息事業と教育・保育機関との連携によるぜん息の発症・増悪の予防、改善のための新しいシステムの構築に関する研究」</p> <p>研究代表者：新宅 治夫（大阪市立大学大学院）</p>
11:15~11:30	第1部全体質疑及び意見交換（15分）

<休憩> 11:30~11:45（15分）

＜第2部 11：45～12：35＞ 【座長 内山 巖雄】

11：45～12：05

発表 15分
質疑応答 5分

【分野】

- (1) 気管支ぜん息の発症、増悪予防に関する調査研究
③環境因子による増悪予防のための健康管理手法

【研究課題名】

「微小粒子状物質（PM2.5）をはじめとする大気汚染物質に高感受性を示すぜん息群の抽出とその増悪予防のための効率的な健康管理手法の確立に関する調査研究」

研究代表者：滝澤 始（杏林大学）

12：05～12：25

発表 15分
質疑応答 5分

【分野】

- (1) 気管支ぜん息の発症、増悪予防に関する調査研究
③環境因子による増悪予防のための健康管理手法

【研究課題名】

「PM2.5のぜん息・ぜん鳴児への影響と対応措置の評価」

研究代表者：足立 雄一（国立大学法人富山大学）

12：25～12：35

第2部全体質疑及び意見交換（10分）

＜昼食＞ 12：35～13：35（60分）

<第3部 13:35~14:50> 【座長 西牟田 敏之】

<p>13:35~13:55</p> <p style="font-size: small;">発表 15分 質疑応答 5分</p>	<p>【分野】</p> <p>(2) 気管支ぜん息・COPD患者の日常生活の管理、指導に関する調査研究</p> <p>①就学期の患者の効果的な教育、指導モデルの構築</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「就学期の患者の効果的な教育、指導モデルの構築に関する研究」</p> <p style="text-align: right;">研究代表者：小田嶋 博（国立病院機構福岡病院）</p>
<p>13:55~14:15</p> <p style="font-size: small;">発表 15分 質疑応答 5分</p>	<p>【分野】</p> <p>(2) 気管支ぜん息・COPD患者の日常生活の管理、指導に関する調査研究</p> <p>②患者教育実践指導のための指導者育成システムの開発及び基盤整備</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「アレルギー専門患者指導のための指導者育成システムの開発および基盤整備に関する研究」</p> <p style="text-align: right;">研究代表者：赤澤 晃（東京都立小児総合医療センター）</p>
<p>14:15~14:35</p> <p style="font-size: small;">発表 15分 質疑応答 5分</p>	<p>【分野】</p> <p>(2) 気管支ぜん息・COPD患者の日常生活の管理、指導に関する調査研究</p> <p>③客観的指標によるアドヒアランスの評価</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「小児気管支ぜん息の自己管理支援に資する新しい客観的なアドヒアランス評価指標の開発と確立に関する調査研究」</p> <p style="text-align: right;">研究代表者：藤澤 隆夫（国立病院機構三重病院）</p>
<p>14:35~14:50</p>	<p>第3部全体質疑及び意見交換（15分）</p>

<第4部 14:50~15:40> 【座長 福地 義之助、眞野 健次】

<p>14:50~15:15</p> <p>発表 15分 質疑応答 10分</p>	<p>【分野】</p> <p>(2) 気管支ぜん息・COPD患者の日常生活の管理、指導に関する調査研究</p> <p>④COPDの重症化防止のための効果的なセルフマネジメント教育の実践・普及</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「タブレットPCを用いた教育ツールの開発とCOPDエドゥケーター育成による効果的なセルフマネジメント教育の実践・普及に関する調査研究」</p> <p align="right">研究代表者：植木 純（順天堂大学）</p>
<p>15:15~15:40</p> <p>発表 15分 質疑応答 10分</p>	<p>【分野】</p> <p>(3) 気管支ぜん息の動向等に関する調査研究</p> <p>①気管支ぜん息患者の長期経過及び変動要因</p> <p>【研究課題名】</p> <p>「気管支ぜん息の動向等に関する調査研究」</p> <p align="right">研究代表者：谷口 正実（国立病院機構相模原病院）</p>

<休憩> 15:40~15:55 (15分)

<第5部 15:55~17:00> 【座長 宮本 昭正、福地 義之助】

<p>15:55~16:20</p>	<p>分野（1）（3） 全体討議①（25分）</p> <p>【パネリスト 各研究課題代表者6名】</p>
<p>16:25~16:50</p>	<p>分野（2） 全体討議②（25分）</p> <p>【パネリスト 各研究課題代表者4名】</p>
<p>16:55~17:00</p>	<p>総評</p> <p>環境保健調査研究評価委員長 宮本 昭正</p>

17:00 閉会

